

平成28年度互助会事業等に係るアンケート結果について（概要）

1 給付事業について

○ より充実して欲しい給付 （意見等）

1位	療養費補助金	29%	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、活用することが多いと考えられるため ・多くの会員が利用することができる（病気、けが等） ・医療費に係る補助を充実して欲しい ・被扶養者についても、補助を充実して欲しい
2位	退職慰労金	19%	<ul style="list-style-type: none"> ・全会員が給付を受けることができる給付事業である ・給付率を上げて欲しい
3位	入院見舞金	14%	<ul style="list-style-type: none"> ・今後利用する可能性が高い ・入院見舞金を3日目ぐらいから給付して欲しい（短期入院が多い） ・働けなくなった時の家族への負担を軽減したい（給付額を充実して欲しい）

○ 縮小してよい給付 （意見等）

1位	現状維持	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・今後自分を含めて活用する機会が多いと考えらる事業 ・すべてこのまま事業を続けてほしい
2位	銀婚祝金	21%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性を感じない。（時代にそぐわない） ・晩婚化もあり、結婚しない会員もいるので
3位	結婚祝金	15%	<ul style="list-style-type: none"> ・減額してもいいのではないか。 ・結婚をしないという人もいるので不公平感がある

○ 廃止してよい給付 （意見等）

1位	銀婚祝金	42%	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり必要性を感じない ・晩婚化で会員期間中に給付を受けることができない人もいる ・結婚祝金があれば十分だ
2位	療養見舞金	16%	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅療養は各自の対処なので見舞金は必要ない ・共済組合の休職手当金等と事業が重なるため
3位	結婚祝金	15%	<ul style="list-style-type: none"> ・全員に還元することにならないから（結婚・出産をしない人がいる） ・共済組合も結婚手当金を廃止したので

2 福祉事業について

○ より充実して欲しい事業 （意見等）

1位	人間ドック	44%	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の健康管理のため受診回数を増やしてほしい
2位	インフルエンザ予防接種補助	21%	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の健康管理のため必要 ・被扶養者の補助もはじめて欲しい ・インフルエンザ接種料金も高くなったので補助が必要
3位	退職準備セミナー	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・全会員が必ず迎えるものである。 ・退職に関することは十分な情報が無いため

○ 縮小してよい事業

(意見等)

1位	リフレッシュ海外旅行助成	22%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する機会が無く、一部の人が利用している ・事業として行うべきではない (自己負担すべき) ・松山空港に限定され、国際便も減少している ・助成額も少ない
2位	現状維持	22%	
3位	広報資料刊行	17%	<ul style="list-style-type: none"> ・HPで閲覧、メール配信等(紙媒体をやめる) ・無くても、困らない。 ・配布するのであれば、各所属に最小限に

○ 廃止してよい事業

(意見等)

1位	リフレッシュ海外旅行助成	41%	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた人しか利用しないので不公平感があり 必要性がない ・自己負担すべきもの (事業として実施できない) ・松山空港発着の国際便に限定されている (便数減少、利用しない) ・助成額1万円は少額である
2位	広報資料刊行	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体の配布をやめて、ホームページに掲載する ・必要性がないので
3位	福祉相談	17%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性がないので ・利用機会が少ない

3 貸付事業について

○ より充実して欲しい貸付

(意見等)

1位	災害復旧貸付	31%	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時には、必要になってくるので、上限額を上げて充実して欲しい
2位	一般貸付	31%	<ul style="list-style-type: none"> ・会員なら誰でも借りられるし、用途が生活資金なので利用範囲が広く利用しやすい ・低金利で、上限額を上げて欲しい
3位	住宅貸付	28%	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時は勿論、住まいは必要なので利用する機会はある(在会年数の限度を下げる) ・住宅には高額な費用がかかるため、限度額を上げて、低金利で充実させてほしい

○ 縮小してよい貸付

(意見等)

1位	現状維持	37%	<ul style="list-style-type: none"> ・このままで良い ・必要な事業である
2位	通勤定期購入資金貸付	23%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性が無い ・利用する人が限定される ・自己負担すべきもの ・通勤手当が支給されるので ・金額が少額なので ・貸付事業になっているのが分からない
3位	結婚貸付	22%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性がない ・自己負担でよい ・利用しない ・個人的な問題なので ・一般貸付と統合 ・結婚費用が減少しているため

○ 廃止してよい貸付

(意見等)

1位	通勤定期購入資金貸付	59%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性を感じない ・利用するのは限られた人のみ（利用している実態が分からない）で、利用する機会がない ・通勤手当の支給があるので ・自分で購入する（クレジットカード等） ・自家用車通勤で必要ない（自家用車通勤に変更すれば） ・少額なので貸付事業があるのもよく分からない
2位	結婚貸付	26%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性を感じない ・自分のできる範囲の結婚式をすればいいこと ・自己責任で用意すればいい ・一般貸付と統合すればいい ・利用する人が少ないのでは
3位	一般貸付・住宅貸付	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり必要性を感じない。 ・他の金融機関で利用すればいい ・利用する理由がはっきりしている方がいい（貸付理由は、生活資金のみ受付）

※インフルエンザ予防接種補助事業について

- ・回答者数1,579件の内、接種した676件(43%)、接種しなかった903件(57%)の回答
- ・予防接種補助金を申請しなかった理由
- ①かからない、必要ない、体調不良等で接種しなかった
- ②時間が無くて接種できなかった。（期限内に接種も、申請も）

4 療養費補助金決定通知書送付について

- 今後も年1回通知して欲しい 61%
- 希望する会員のみ送付する 28%
- 決定通知書の送付は必要ない 11%

5 互助会に関する意見要望について

- 1 「特にありません」の回答が1番多く入力されていた
- 2 今の事業をより充実し、継続していただきたい
- 3 全体への周知の回り方を工夫していただき、もっと、事業内容を詳しく、利用しやすいようにしてもらいたい
- 4 事務の簡素化、事業の縮小をし、無理のない運営をしてほしい
- 5 福祉事業（人間ドック等の検診事業）、給付事業の充実して欲しい
- 6 今回のアンケートを取ることは、事業の内容の認識不足が分かり良かった
- 7 貸付事業は、今後も継続して欲しい（教育貸付を新規で行ってほしい）
- 8 公平に支援が受けられるような制度（特定の地域や人に偏った事業は見直してほしい
困った時には公平に誰でも受けられるように）
- 9 補助のポイントをしばり、廃止できるものを選別すること
- 10 若年層を応援していける事業を

6 今後の検討課題について

- ・給付事業の銀婚祝金の今後について（縮小・廃止回答率が高い）
- ・給付事業の入院見舞金の給付可能な開始日の検討（8日目から給付可能を短縮可能か）
- ・広報資料刊行（ホームページ活用）